



平成 19 年 5 月 7 日

各 位

上 場 会 社 名	ニッシン債権回収株式会社
代 表 者	代表取締役社長 天 野 量 公 (東証マザーズ コード番号：8426)
問 合 せ 先	執 行 役 員 山 口 達 也 経 営 管 理 部 長
電 話 番 号	(東京) 0 3 - 5 3 2 6 - 3 9 7 1
当 社 の 親 会 社	NIS グループ株式会社
代 表 者	代表取締役社長兼 網 屋 信 介 共同最高経営責任者 (東証第一部 コード番号：8571)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 18 年 10 月 31 日に公表しました、平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の通期業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期通期業績予想（連結・個別）の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(1) 連結業績

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	20,200	5,400	2,800
今 回 修 正 予 想 (B)	31,690	5,192	2,711
増 減 額 (B - A)	11,490	△208	△89
増 減 率 (%)	56.9%	△3.9%	△3.2%
前期実績 (平成 18 年 3 月期)	15,947	4,029	2,353

(2) 個別業績

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	12,800	2,900	1,700
今 回 修 正 予 想 (B)	12,025	2,208	1,266
増 減 額 (B - A)	△775	△692	△434
増 減 率 (%)	△6.1%	△23.9%	△25.6%
前期実績 (平成 18 年 3 月期)	9,903	1,928	1,137

(3) 通期業績予想修正の理由

①連結業績

営業収益につきましては、主に連結子会社の匿名組合出資等により取得し、その出資持分から連結の範囲に含めている買取債権および買取不動産のうち、それぞれ大型の1案件の回収、売却が進捗したことから大幅な増加となりましたが、ニッシン債権回収個別における、買取債権の回収目標の未達成および貸倒関連費用の増加により、経常利益、当期純利益は微減となりました。

②個別業績

連結修正理由に記載のとおり、買取債権の回収目標の未達成および貸倒関連費用の増加により、営業収益、経常利益、当期純利益をそれぞれ上記のとおり修正いたしました。

2. 将来予測に関する記述について

本資料には、当社グループの意図、信念、現在及び将来の予測、または連結、個別の業績、財務状況に関する経営陣の意図、信念、現在及び将来の予測に関する記述が収録されております。記載されている歴史的事実以外の将来に関するすべての記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であります。かかる将来予測に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、潜在的なリスクや不確実性を伴うものであり、実際の業績は様々な要因により将来予測に関する記述とは大きく異なる可能性がありますのでご注意ください。

実際の業績に影響を与える潜在的なリスクや不確実性を伴う要因には、以下のようなものが含まれます。

- ・ 日本国内の経済環境の回復に伴う不良債権の流動化市場の収縮
- ・ 競争激化による特定金銭債権の買取価格の水準の高騰及び受託手数料の低下による利益率の下落
- ・ 回収期間の長期化による収益性の悪化
- ・ 債権管理回収業に関する特別措置法の改正
- ・ 好条件での資金調達先の有無及び金融政策等の変更による影響
- ・ 親会社であるNISグループ(株)の事業戦略及び経営成績等
- ・ 当社の利用する情報、基幹システム及びネットワークシステムの信頼性

ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではなく、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響等によって、新たなリスクや不確実な要素が発生する可能性があります。

以 上